

平成21年 6月 9日
(社)全国木材組合連合会

平成21年度「環境にやさしい木材利用の推進緊急対策事業」における
森林を育む木のすまい普及の推進の木材・住宅フェアの参加者の募集について

(社)全国木材組合連合会(以下「本会」という。)では、平成21年度「環境にやさしい木材利用の推進緊急対策事業」における森林を育む木のすまい普及の推進の普及推進支援事業の一環として、「森林を育む木のすまい・国産材製品フェア」の参加者の募集を次の要領で行います。

参加を希望される場合、平成21年度「環境にやさしい木材利用の推進緊急対策事業」における木材・住宅フェア実施希望申請書を平成21年6月30日(火)までに本会宛ご提出ください。

1. 事業の目的

この事業は、地球温暖化防止・循環型社会を実現するためには、木材需要の大宗を占める住宅部門における間伐材等地域材の利用を推進することが重要となっている中で、木材産業と住宅産業、間伐材等地域材での家づくりを普及するNPO等との連携により、木材・住宅フェアを開催し、消費者に直接働きかけるPR活動を実施するものです。

具体的には、都市圏を中心に間伐材等地域材を活用した住宅に興味を持った消費者に対し、木材産業と住宅産業、NPO等が連携して、住宅を供給するグループや企業が消費者に直接PRするため「森林を育む木のすまい・国産材製品フェア」を行うものです。

2. 応募対象者

事業費の1/2以上を自己負担でき、次の要件を満たす団体、企業等です。

- (1) 事業の実施に必要な執行体制及び責任体制が整備され、または整備されることが明らかであること。
- (2) 事業に関する資金計画が適切であり、かつ、その資金計画に伴って事業が実施されることが確実であること。
- (3) 事業を円滑かつ効率的に実施することが可能であること。

注1:自己負担額の一部に国の実施する他の補助金を充当することはできません。

注2:応募の状況や審査の結果によっては、事業内容及び額等を調整します。

3. 応募対象事業

応募対象事業は、効果を勘案して、既存の展示会の中で「森林を育む木のすまい・

国産材製品フェア」等の統一コンセプトによる展示コーナーを設け、一体的に実施する事業といたします。

応募対象の展示会は次のとおりです。

なお、原則として、既存の展示会に単独で出展する場合は、応募の対象外です。

(1) JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2009

[平成 21 年 8 月 27 日(木)～29 日(土)3 日間、幕張メッセ国際展示場]

注：この展示会への出展を希望される場合、できるだけ早く連絡をお願い申し上げます。

(2) Japan Home and Building SHOW 2009

[平成 21 年 11 月 11 日(水)～11 月 13 日(金)の 3 日間、東京ビッグサイト]

(3) エコプロダクツ 2009

[平成 21 年 12 月 10 日(木)～12 日(土) 3 日間、東京ビッグサイト東展示場]

ア 出展の規模

フェア毎(木づかい推進月間の木材・住宅フェアを除く)に、原則として、10 コマ(1 コマ 3m×3m 程度：但し、統一感を持たすために一部の面積を全木連が使用することがあります。)以上の規模で実施します。1 コマから応募できるものとし、上限はありません。全木連で全体を取りまとめて、主催者と折衝いたします。

イ 森林を育む木材・住宅フェアの展示の統一性について

出展については、フェアの統一性を保つため、全木連で全体のコンセプトの調整及び展示コマの基礎的な装飾を本会が行います。コマ内の展示は出展者自ら行います。

ウ その他

製品の販売を含めたプロモーション活動、実演、ミニセミナーなど一般の展示会と同様の活動ができます。

4. 事業費

(1) 事業に必要な経費

ア、事業費は、団体、企業等の経費となります。

イ、助成金の額は、団体、企業等の経費の 2 分の 1 以内となります。

(2) 事業対象経費

この事業の助成金の交付対象となる経費は、以下に掲げる費目のうち事業の実

施に真に必要な経費として、本会が認めたもので、かつ、領収書をもって確認できる経費（消費税を含む）となります。

出展経費の内訳

フェアへの出展に必要な会場費：コマ代及び統一性をもたせるための共通装飾経費、賃金、旅費、印刷費、材料費、消耗品費、通信運搬費、制作委託費、賃借料

5. 助成期間

この事業の実施期間は、展示に必要な準備を始めた日から展示を終了し、経費の精算が終るまでの期間です。

6. 審査

本会が設置する本事業の企画委員会のフェアワーキング委員会の審査を経て選考します。

本会から申請内容等について問い合わせをすることがあります。

7. 助成の実施の手続き

以下の事業フォロー図を参考にしてください。

なお、事業契約者は、本事業の終了の年度の翌年度から、5年間、関係書類・会計書類等について保存していただきます。

8. 応募に必要な書類

別添の様式により申請してください。

(参考資料等があれば添付してください。)

9. 申請書提出締め切り

平成21年6月30日(火)

10. 問い合わせ先

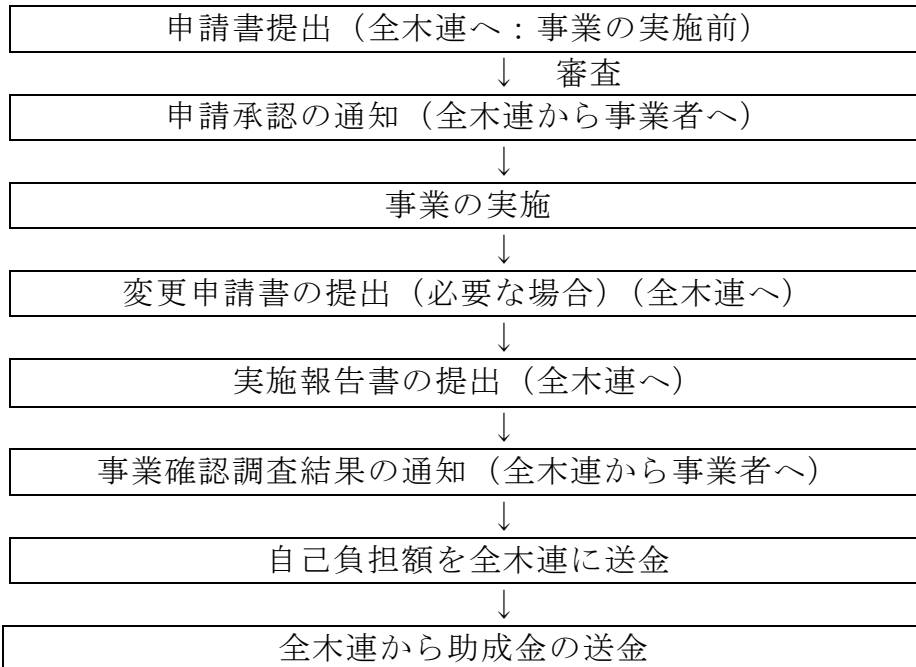
(社) 全国木材組合連合会：守口、細貝

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル6階

電話番号 (03) 3580-3215 FAX 番号(03)3580-3226 e-mail info@zenmoku.jp

平成21年度「環境にやさしい木材利用の推進緊急対策事業」
における木材・住宅フェアの事業フロー図

(木材・住宅フェア)



(様式：記載例)

平成21年度 普及推進事業助成金交付申請書

1. 組織概要

- (1) 組織名 日本木材株式会社
- (2) 代表者役職・氏名
役職名 代表取締役 氏名 地域材 一 印
- (3) 所在地 〒100-0014
東京都千代田区永田町2-4-3
電話番号 (03) 3580-3215 FAX番号 (03) 3580-3226
- (4) 事務連絡担当者名
部署名 総務課 氏名 製材 一 印
電話番号 (03) 3580-3217 FAX番号 (03) 3580-3226
e-mailアドレス seizai@tiikizai.or.jp
- (5) 設立年 昭和50年 年
- (6) 従業員数 7 名
- (7) 資本金(出資金) 1,000 千円
- (8) 売上高 235,000 千円
- (9) 業種及び事業概要
一般製材、プレカット加工
事業概要は、別添会社案内のとおり

2. 助成希望事業名等

- (1) 事業名(フェアの名称、開催場所、開催期間など):
全国建材展における地域材製品の展示及び普及宣伝事業
東京ビックサイト
平成21年9月 1日～ 3日
- (2) 主催者(既存の展示会の場合は、展示会的主催者)
名称: 日本建材協会
所在地: 東京都千代田区〇〇町2-5-1
担当者: 建材展担当 建材一
連絡先: (03) 3580-3200

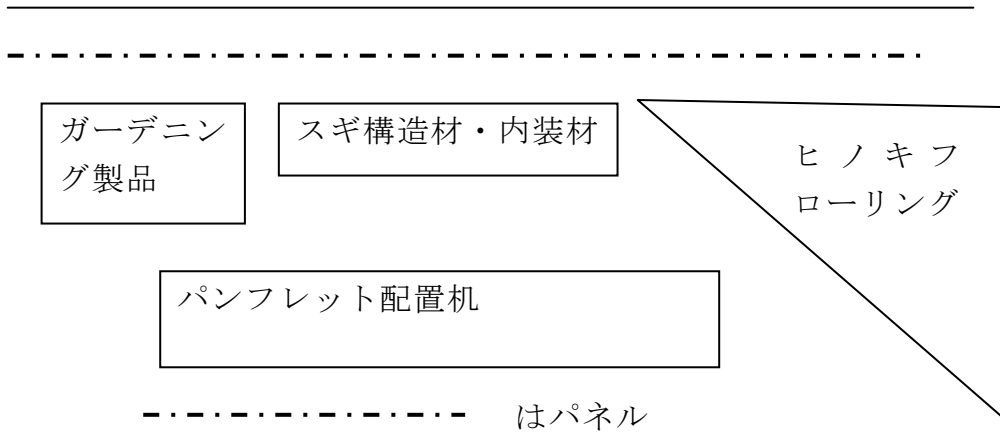
3. 事業実施期間 平成21年 7月 31日 ~ 平成21年10月30日

4. 展示コマ数 2コマ

5. 事業内容と実施方法

- (1) 全国建材展示会に出展し、地域材製品の展示を行う。
出品内容:スギ構造材、スギ内装材、ガーデニング製品、間伐材製品等
- (2) 地球温暖化対策の森林吸収源対策のためには、地域材の利用推進を図り、森林整備を進めることが重要であることを広報する。

配地図



6. 事業費内訳

(1) 収入

(単位:千円)

区 分	事業費	うち自己負担額	備 考
助成費	1,300	650	

注) 自己負担額は事業費の1/2以上

(2) 支出

(単位:千円)

費 目	事業費	うち自己負担額	積算根拠
出展事業者出展事業費			
会場費 (コマ代300千円× 2コマ @600千円) (共通装飾費 90千 円×2 コマ@180千 円)	780	390	(全木連へ支払い) 全木連立替分 全木連立替分
賃金@10,000円× 6人日	60	30	展示コマ内の展示物 装飾・撤去、展示コマ 内の手伝い
旅費 @50,000円×2人	100	50	展示会場往復旅費、宿 泊費
(需用費)			
印刷費	90	45	パンフレット印刷
材料費	100	50	展示物用
消耗品費	10	5	ボンド等
(役務費)			
通信運搬費	50	25	展示物往復運賃
(委託料)			
制作委託費	90	45	展示物の制作委託
賃借料	20	10	テーブル、椅子等リー ス料
計	1,300	650	

注：費目は該当するものを消費税込価格で記載してください。

会場費のコマ代、共通装飾費は、展示会毎に変わります。積算に当たってはお問い合わせください。但し、木づかい推進月間提案による既存の展示会等の場合は実費をご記入ください。

[コマ代 (1コマ当り)]

DIY：246,750円、ホームショー：262,500円、エコプロ：315,000円

[共通装飾費 (1コマ当り)] DIY、ホームショー、エコプロ：90,000円

7. 消費者向けPRの方法、消費者を対象としたイベントの持ち方

- 多くの来場者が訪れる○○○展示会において、地域材の高次加工製品の展示、地域材の利用が日本の森林を救うことをパネルやパンフレットを配布してPRする。
- 来場者に地域材のぬくもりを実感してもらえよう地域材の調度品を置き、自由に試していただくコーナーを設ける。

8. 事業実施の効果を追跡する手法

- 来場者に簡単な地域材利用についてのアンケートを行い、メールアドレスを記入してもらい、以降、電子メールによる双方向の情報受発信の体制をつくる。
- 自社のホームページで地域材の情報やイベント情報を掲載する。

9. 「森林を育む木の住まい」の主旨をPRする方法

- 地域材で作成した「森林を育む木の住まい」の看板を小間内に表示するとともに、地域材の利用が森林整備につながることをパネルとパンフレットを配布してPRする。
- 自社のホームページでPRする。

10. 契約希望事業で想定される効果

- 各種の地域材を高度に加工した製品を展示することで、一般消費者の方に、スギ材製品の素晴らしさ、これまでにない利用方法を訴えられる。
- 新規の販売先が開拓でき、地域材の利用推進が図れる。
- 地域材製品毎の評価が得られ、需要者のニーズが把握でき、今後の製品開発に生かすことができる。
- 展示会と併せた商談会の実施は、具体的な地域材の利用推進に結びつく。
- 首都圏における展示会への出展は、多くの来場者を見込むことができる。

11. 備考・連絡事項等

注：参考資料があれば添付してください。

平成 21 年度普及推進事業助成金交付申請書

1. 組織概要

(1) 組織名 _____

(2) 代表者役職・氏名
役職名 _____ 氏名 _____ 印 _____

(3) 所在地 〒 _____
電話番号 () - _____ FAX 番号 () - _____

(4) 事務連絡担当者名
部署名 _____ 氏名 _____ 印 _____
電話番号 () - _____ FAX 番号 () - _____
e-mail アドレス _____ @ _____

(5) 設立年 _____ 年

(6) 従業員数 _____ 名

(7) 資本金（出資金） _____ 千円

(8) 売上高 _____ 千円

(9) 業種及び事業概要

2. 助成希望事業名等

(1) 事業名（フェアの名称、開催場所、開催期間など）：

(2) 主催者（既存の展示会の場合は、展示会的主催者）

名称：

所在地：

担当者：

連絡先：

3. 事業実施期間 平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日

4. 展示コマ数 コマ

5. 事業内容と実施方法

6. 事業費内訳

(1) 収入

(単位:千円、消費税込)

区 分	事業費	自己負担額	備 考
助成額			

注) 自己負担額は事業費の 1/2 以上

(2) 支出

(単位:千円、消費税込)

費 目	事業費	自己負担額	積算根拠
出展事業者出展事業費 会場費 (コマ代 千円 × コマ @ 千円) (共通装飾費 千円× コマ @ 千円) 賃金 旅費 (需用費) 印刷費 材料費 消耗品費 (役務費) 通信運搬費 (委託料) 制作委託費 賃借料			
計			

注: 費目は該当するものを消費税込み価格で記載してください。

会場費のコマ代、共通装飾費は、展示会毎に変わります。積算に当たってはお問い合わせください。但し、木づかい推進月間の木材・住宅フェア等の場合は実費をご記入ください。

7. 消費者向けPRの方法、消費者を対象としたイベントの持ち方

--

8. 事業実施の効果を追跡する手法

--

9. 「森林を育む木の住まい」の主旨をPRする方法

--

10. 契約希望事業で想定される効果

--

11. 備考・連絡事項等

--

注：参考資料があれば添付してください。